



# 日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

## 年次総会概要報告

NPO 法人日本防火技術者協会発足後、第4回となる平成19年度総会、講演会を開催しました。また、SFPE日本支部総会も当総会后に、引き続き開催されました。

## NPO 法人日本防火技術者協会 平成19年度通常総会

日時 平成19年1月19日(金)  
13時~14時  
場所 東京理科大学森戸記念館

### 議題内容

- 1) 平成18年度事業報告
- 2) 平成19年度活動計画
- 3) 会計報告、予算計画
- 4) 監査報告
- 5) 理事、監事の選任
- 6) その他

### 【総会参加者】

会員数：98名(賛助会員を除く)  
総会成立条件 委任状を含めて会員の過半数の出席(定足数49名)  
出席者 出席39名、委任状42名  
合計81名

### 【配付資料】

- (1) 平成18年度 事業報告書
- (2) NPO法人日本防火技術者協会 平成18年度決算書
- (3) 平成18年度 会計貸借対照表
- (4) 平成18年度 会計収支計算書
- (5) 平成18年度 会計財産目録
- (6) NPO法人日本防火技術者協会活動計画
- (7) 平成19年度事業計画書
- (8) 平成19年度 会計収支予算書
- (9) 特定非営利活動法人 日本防火技術者協会 行動宣言(案)
- (10) NPO法人日本防火技術者協会の事業について(提案)

### 【審議事項】

- (1) 第一号議案 議長の選任
- (2) 第二号議案 議事録署名人の選任
- (3) 第三号議案 平成18年度活動結果報告
- (4) 第四号議案 平成19年度活動計画

- (5) 第五号議案 平成18年度会計報告
- (6) 第六号議案 平成19年度予算
- (7) 第七号議案 監査報告
- (8) 第八号議案 理事の選出

議事の経過の概要及び議決の結果  
審議に先立ち佐藤理事長の挨拶があった。

- (1) 第一号議案 議長の選任  
司会より佐藤博臣氏を議長に指名し、全員異議なくこれを承認した。

- (2) 第二号議案 議事録署名人の選任  
議長より本日の議事をまとめるにあたり、議事録署名人2名を選任することを諮り、福井 潔氏、堀田博文氏を選任することを、全員異議なく了承した。

- (3) 第三号議案 平成18年度活動結果報告  
富松副理事長より平成18年度活動結果報告があり、審議したところ、全員異議なくこれを承認した。  
主な活動内容は、以下の通りである。

- 1) 調査研究事業(講演会参加)  
7月25日 室崎益輝・関沢愛・小出治講演会「社会の急速な高齢化と安全安心」に参加した。

- 2) 調査研究事業(シンポジウム後援)  
1月23日「防火技術者」は日本ではどうあるべきか、(主催:日本建築学会防火委員会)を後援し、参加した。

- 3) 防火技術者の国際的連携事業  
6月14日~16日、早稲田大学にて開催された第6回SFPE(防火技術者協会)性能基準・性能設計シンポジウムに協賛し、国際的に防火技術者との技術情報交換による連携をはかった。会員に対して、参加費の優遇を行った。国内外の参加者200名で盛況であった。

- 4) 防火技術者の連携事業  
ホームページのメンテナンスを行った。JAFPEニュース(8~10号)をEmailで配信した。

- (4) 第四号議案 平成19年度活動計画について  
富松副理事長より平成19年度活動計画についての説明があり、審議したところ、全員異議なくこれを承認した。

- (5) 第五号議案 平成18年度会計報告  
富松副理事長より平成18年度会計報告

があり、審議したところ、全員異議なくこれを承認した。

- (6) 第六号議案 平成19年度予算について  
富松副理事長より平成19年度予算についての説明があり、審議したところ、全員異議なくこれを承認した。

- (7) 第七号議案 監査報告  
濱田監事より、平成18年1月1日から平成18年12月31日までの事業年度における理事の業務状況および財産の状況についての監査報告がされた。

- (8) 第八号議案 理事の選出  
議長より役員改選の人選にあたって公募に定員ついて諮り、審議の結果、理事に池田憲一、上原茂男、笠原 勲、佐藤博臣、関沢 愛、富松太基、原田和典、堀田博文、福井 潔、松山 賢、監事に濱田信義とすることを全員異議なく承認した。

- (9) その他  
行動宣言(案)が提案され、承認された。  
次に、防火技術者の存在を社会に認知してもらい、その役割の有用さを認識してもらうことにより、防火技術者の地位の向上に役立てる研究会の発足など新たな事業が提案され、押し進めることが承認された。

### 【平成19年度活動計画】

- 1) 防火啓発事業  
火災性状や避難の確保などについて、防災まちづくりの観点から設計意図を伝達する方策を研究し、学校、消防、各地の防火協会等に普及を図る。第一段階として消防機関と連携を模索する。
- 2) 火災安全の広報事業  
一般のビルや公共空間や地下の火災時の状況、避難安全の確保などについて防火技術者の立場から雑誌、ホームページなどで啓発する。
- 3) 調査研究事業  
防災上特徴のある竣工建築物を、性能設計の視点から調査するとともに、一般市民の啓発を図る
- 4) 調査研究事業  
建築物の火災安全性能と防火技術について、シンポジウムにより火災安全



# 日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

防火技術者の技術や倫理向上に資する。

建築学会、火災学会などとの共催をおこなう。

## 5) 防火技術者の連携事業

防火技術者の技術力向上、倫理維持をめざしホームページ、Email 配信などにより情報提供と相互連携をおこなう。

## 6) 防火技術者の連携事業

国際的なシンポジウムを支援し、海外の防火技術者との技術情報交換による連携をはかる。



## SFPE・J ニュース

(SFPE 日本支部  
の活動 第15・16号)

## 第7回性能基準と火災安全設計法 に関する国際会議 論文締め切り迫る

第7回性能基準と火災安全設計法に関する国際会議は、2008年4月16～18日にニュージーランドのオークランドで開催されます。アブストラクト締め切りは6月11日です。詳細はホームページ [www.sfpe.org/upload/sfpe\\_08conf\\_cfp.pdf](http://www.sfpe.org/upload/sfpe_08conf_cfp.pdf) をご覧ください。

## SFPE 日本支部 2007年度通常総会

日時 2007年1月19日(金)  
14時00分～14時00分  
場所 東京理科大学森戸記念館

〔議題内容〕

- 1) 2006年度活動報告
- 2) 2007年度活動計画報告
- 3) 理事の選任
- 4) 職能WG活動報告
- 5) その他

〔配付資料〕

- (1) SFPE 日本支部関係活動報告と計画
- (2) 第6階 SFPE 性能基準と火災安全設計法に関する国際会議

〔2006年度活動報告〕  
〔2007年度活動計画〕

## 1) 対外活動

1/23 東京理科大森戸記念館にて防火職能技術シンポジウムを開催。盛況であった。

6/14～16 に早稲田大学国際会議場で SFPE 性能基準・性能設計シンポジウム(別記参照)を開催支援。大成功にて本部より「Hat off Award」を受賞、笠原理事が授賞式に出席した。

シンポジウムの際に各国の防火技術者の現状について討議を行った。アジア・オセアニア地域の SFPE 支部による相互交流と地域活動の促進を合意し、香港にて次回開催を確認した。

## 2) 防火技術職能 WG

建築学会防火委員会防火技術職能検討 WG として活動、メンバーは富松(主査) 仲谷、水野、海老原、佐藤、角谷、中島、笠原、上原。

1/23 にはシンポジウム:「防火技術者」は日本ではどうあるべきか? を開催した。

1/23、4/7、5/25、7/31、10/10、12/6、計6回会合。防火技術者の法的位置づけを検討中に建築士法改正での専門家のあり方が不透明になり、検討は今後持ち越された。今後はアンケートなどを通じて、あるべき姿を探る予定。行動規範なども再検討を行う。また「行動宣言(案)」も作成した。広く意見をいただきたい。

## 3) 防火教育 WG

防火技術者の教育を目的に研究会を実施。メンバーは原田(主査) 大宮、栗岡、黒田、佐藤(博)、佐藤(淳)、志田、関沢、杜、富松、仲谷、名取、野竹、長谷見、堀田、松山、万本、矢代、山田の19名、今年度は休眠状態でしたが、来年度は活動を再開する計画です。

## 4) 防災診断・教育ツール WG

防火診断および教育ボランティアの派遣に必要なツールを作成する研究会を立ち上げる予定。参加者を募りたい。

## 5) SFPE ケーススタディ WG

6月14～16日の日本での第6回性能設計シンポジウムに建築学会防火委員会火災安全設計小委員会(萩原主査)と共同で参加。WG(原田主査)にメンバー参加。

2007/1/19 建築学会防火委員会火災安全設計小委員会と共に報告を兼ねたシンポジウムを開催する予定。

## 6) 見学会・講習会(事業 WG)

今年は、SFPE シンポジウムを中心に活動し特段の見学会などは開催していない。講演会には7/25 都市防災・防犯シンポジウム「社会の急速な高齢化と安全安心」(東大・山上会館にて)に参加した。

## 7) 広報活動

SFPE - J ニュース(仮題)はそのまま「NPO 法人日本防火技術者協会」の広報ともなり日本防火技術者協会ニュース(JAFPE ニュース)の一部に掲載。3回発行。

## 〔理事改選結果〕

NPO 法人と同一役員が承認されました。

## 「高齢者福祉施設の 性能的火災安全設計 - 日本と諸外国の ケーススタディ」 シンポジウム概要報告

1/19の総会後に、表記のシンポジウムが開催されました。このシンポジウムは、昨年6月に早稲田大学で行われたSFPE 会議に提出された各国の性能設計を比較スタディするもので、日本のケーススタディは建築学会と JAFPE の合同WG により準備されたものです。

趣旨: 介護施設やシルバーマンション等の高齢者複合施設の建設が盛んであり、高層・超高層のものも出現している。このような建物では、火災などの緊急時、特に夜間の火災時の安全性



# 日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

をどのように計画すれば良いのだろうか? 日本建築学会火災安全設計小委員会性能設計WGでは、超高層の複合高齢者施設の火災安全性能設計ケーススタディを行い、防火技術者協会(SFPE)主催の国際ケーススタディ比較に応募した。

本シンポジウムでは、WG作成の性能設計案を紹介し、米国、豪州、香港、カナダ、フランス、スイスの各チームの設計案との比較スタディを行なったものです。

**主催:** 日本建築学会防火委員会火災安全設計小委員会  
**後援:** NPO法人日本防火技術者協会、(社)日本火災学会、東京理科大学21世紀COEプログラム「先導的建築火災安全工学研究の推進拠点」  
**日時:** 2007年1月19日(金) 14:15~17:00  
**会場:** 東京理科大学森戸記念館  
**参加者:** 83名

## プログラム

1. 主題説明  
(原田和典、性能設計ケーススタディWG 主査、京都大学)
2. 性能設計ケーススタディWGの提案
  - (1) 建築計画の概要と防災計画基本方針 (福井潔、(株)日建設計)
  - (2) エレベーターを利用した避難安全設計 (北後明彦、神戸大学)
  - (3) 避難行動との接点を考えた消防活動計画(伊藤彩子、東京消防庁)
  - (4) 区画保持を考えた構造耐火設計 (道越真太郎、大成建設(株))
3. 諸外国の性能設計との比較
  - (1) 避難計画 (土屋伸一、(株)明野設備研究所)
  - (2) 消防活動計画(中村和孝、東京消防庁/独)建築研究所)
  - (3) 耐火設計 (近藤史朗、清水建設(株))
4. 質疑応答・討論

## 老人福祉施設、学校教育施設の避難安全に関する研究会 準備会開催のお知らせ

当会総会で提案されました研究会の準備会を下記のとおりで開催しますので関係者はお集まりください。

**主催** 日本防火技術者協会  
**日時** 5月14日(月)18:00~  
**場所** 日本建築学会会議室

### 研究会のテーマ案

- ・ 老人福祉施設における避難安全性の検証及び改善に向けた助言
- ・ 学校教育施設における避難安全性の検証及び改善に向けた助言
- ・ 老人福祉施設関係者に対する防火教育プログラムの検討
- ・ 学校教育施設関係者に対する防火教育プログラムの検討

## J. G. Quintiere 教授 講演会のご案内

昨年 SFPE 年次総会で Guise Medal 賞を受賞された J. G. Quintiere 教授が、東京理科大学の21世紀COEプログラムの一環で来日されます。この機会に教授の講演が予定されています。受賞講演を中心とされたもので、火災科学の研究と教育に関する歴史など、日本の研究者も含まれる興味深い内容です。どうぞ参加願います。会場に人数制限がありますので詳細は、別途お知らせいたします。

**主催** 東京理科大学  
21世紀COEプログラム  
**協賛** 日本防火技術者協会  
**講演者** James G. Quintiere, Ph.D.  
**表題** 火災科学と教育(仮題)  
**日時(調整中):** 6月15日(金)18:00  
**場所** 東京理科大学森戸記念館

## 見学会のお知らせ 新国立美術館 東京ミッドタウン

**日時:** 6月22日(金)14:00~17:00  
**集合場所** 新国立美術館入口ロビー

(東京メトロ千代田線乃木坂駅6出口  
東京メトロ日比谷線六本木駅4a出口  
から徒歩5分  
都営地下鉄大江戸線六本木駅7出口から徒歩4分)

<http://www.nact.jp/>  
**見学場所:** 新国立美術館  
東京ミッドタウン  
**コーディネーター:** 富松・福井

## 安全工学シンポジウム2007 - 安全工学の創造的発展 - 開催のお知らせ

2007年の安全工学シンポジウムは日本建築学会が幹事学会で開催されます。当協会と関連のある、オーガナイズセッションやパネルディスカッションが予定されていますのでお知らせします。

**主催:** 日本学術会議総合工学委員会  
幹事学会: 日本建築学会  
**共催:** 日本火災学会他39学協会  
**協賛:** 8学会  
**日時:** 2007年7月5日(木)6日(金)  
**会場:** 日本学術会議 講堂・会議室 (地下鉄千代田線乃木坂駅下車)

**オーガナイズドセッション**  
7月5日(木)14:20~17:00  
「高齢社会における地域防災の課題と展望」(オーガナイザ: 関沢 愛)  
**オーガナイズドセッション**  
7月6日(金) 9:40~11:40  
「超高層建築における避難安全」(オーガナイザ: 上原茂男)

**パネルディスカッション**  
7月6日(金) 14:20~17:00  
「建築物の安全と技術者倫理」

**参加費:** 入場無料。  
**講演予稿集**は当日会場で実費頒布 (1部5,000円、学生1部2,000円)  
**懇親会:** 7月5日(木) 18時~20時  
「はあといん乃木坂」、会費4,000円  
**申込方法:** 自由参加。当日直接来場。  
**問合せ先:** (社)日本建築学会  
安全工学シンポジウム担当: 柴田 (shibata@ajj.or.jp)  
**電話:** 03-3456-2055  
**FAX:** 03-3456-2058





# 日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

## Journal of Fire Protection Engineering Vol.17 No.1 Feb. 2007

Preliminary Guidance for the Design of FRP-strengthened Concrete Members Exposed to Fire,  
(FRP補強コンクリート部材の耐火設計指針の検討)  
V. K. R. Kodur, L. A. Bisby and M. F. Green

Numerical Study of Two Air Intake Strategies for a New Fire Laboratory,  
(新火災実験棟に2つの給気経路をもうける設計方針に関する数値解析)  
Z. D. Chen and D. Yung

Signage Legibility Distances as a Function of Observation Angle,  
(距離と観測角度に応じた誘導標識の見やすさ)  
H. Xie, L. Filippidis, S. Gwynne, E. R. Gales, D. Blackshields and P. J. Lawrence.

A Methodology for Assessment of Visibility during Road Tunnel Fires,  
(道路トンネル火災における視認性評価の方法論)  
Y. Liu, V. Apte, Y. Luong, X. Liu and D. Yung.  
Fitzgerald.

## Fire Protection Engineering No.33 Winter 2007

It's Not Your Father's Security Anymore ..., (もはやお父さんが考える安全の問題ではない)  
Trends in physical security. (肉体的セキュリティの動向)  
Charles E. Hahl, P. E., and Mark M. Hankewycz.

Intelligent Building Response, (インテリジェントビルへの応答)  
Integrating data for Emergency responders before they arrive on the scene. (緊急応答要員が到着する前の要員のための統合データ)  
William Davis, Ph. D.

Reliability of Fire Alarm Systems, (火災警報システムの信頼性)  
An overview of the many factors – both human and technical – that affect system performance. (システム性能に影響する人間と技術の両方に関する様々な要因の概説)  
Kenneth W. Dungan, P. E., FSFPE

SIP & DIP : Stay In Place & Defend In Place, (SIPとDIP: その場に留まることとその場で防御すること)  
How to plan, develop and implement a strategy. (戦略をどのように計画し実施すべきか)  
NEMA

## 新入会員

新たに入会された個人会員 3名  
賛助会員 1団体の方々を記載しました。(敬称略)

### 【会員】

伊藤彩子〔東京消防庁〕  
大原之一〔(株)明野設備研究所〕  
仁井大策〔(独)建築研究所〕  
〔合計100名〕

### 【学生会員】

〔1名〕

### 【賛助会員】

ビューローベリタスジャパン  
〔3口〕  
〔合計5団体〕(計7口)

## 理事会等の開催結果

理事会を以下の日に実施しました。

1月12日(金)

2月27日(木)

3月26日(木)

2月の理事会で役割が決まりました。

理事長(支部長) 笠原 勲

副理事長(副支部長) 佐藤博臣

総務担当 福井 潔

会計担当 池田憲一

教育担当 原田和典

新規研究会 松山 賢

佐藤博臣

富松太基

池田憲一

富松太基

上原茂男

関沢 愛、

松山 賢

福井 潔

堀田博文

## ホームページ開設中

NPO 法人日本防火技術者協会のホームページを開設中。

URLは、<http://www.jafpe.or.jp>

です。

SFPE本部のホームページもご利用下さい。

URLは、<http://www.sfpe.org/>

です。